

平成28年度 日本大学藤沢小学校 自己評価票

【本校の目指す学校像】

本校の教育活動の中で、豊かな知識（学力）、あきらめない心（気力）、頑張れる体力を児童に身につけさせ、この人と仕事がしたいと思われるような自主性を持った創造性豊かな人間を育成することを目指す。

【本校の特長及び課題】

学習の中では国語、算数、体育に時間を多く配当し、基礎学力、基礎体力の育成を行う。宿泊行事（防災訓練1泊、山登り3泊4日、スキー3泊4日）の実施により、生活習慣の確立と物事に対するやり抜く気力、児童相互の協力や思いやりの気持ちを醸成していく。

今後の課題とすることは、小学校の完成年度までに児童の「学力と体力の向上」を基本とした学校づくりの基礎を作っていくことにある。

平成28年度の取組結果

【概況】

授業計画、学校行事、宿泊行事を計画どおり実施することができた。開設2年目を迎え、2学年となり、2年生が1年生に対して、校内だけでなく登下校中の交通機関の中でもやさしく接する姿が見られた。

学習については、算数と英語で学力差が出てきたので、平成29年度に向けて新しい取組を行う必要性を検討している。体力面、気力面については、かなり充実してきており、特に1月のマラソン大会の児童の頑張りに保護者の満足度が高かったようである。健康面においては、平成29年1月にインフルエンザによる学級閉鎖となったクラスがあり、残念であった。

評価項目	取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
教育活動	基礎学力の育成	行事等を土曜日に設定し、月～金の授業時間を確保した。外部実力テスト9月、3月、算数検定と漢字検定を10月に実施した。学習が遅れ気味の児童には土曜日個別指導を実施した。	A
	気力・体力の育成	宿泊行事：防災訓練6月（学校1泊）、山登り7月（志賀高原3泊4日）、スキー教室12月と3月（志賀高原3泊4日）を実施した。	A
	授業の改善に向けた取組	授業公開週間を各学期に一週間実施し、教員がお互いに授業を見て、意見交換をした。また適時、校長による授業観察を実施し、教員と授業について意見交換を行った。	A
学校生活への配慮	良い人間関係の確立	個々の児童が活躍できる場面を作ることを心がけた。	B
	清潔な環境の整備	校舎内外の清掃を児童と教職員が共に行った。	A
	いじめ防止のための取組	いじめ防止基本方針と初期対応マニュアルを作成した。 いじめ防止対策委員会を設置した。	A
課外活動	異なる学年間の交流	放課後16:00まで、教員と児童が共に学習と運動を行う時間として「遊学タイム」を実施した。	A
	学習のサポート	放課後16:00まで、図書館前ラウンジに、学習に関することは何でも相談できるコーナー「寺子屋」を開設した。	A
進路指導	将来への夢を形成する	土曜日に外部講師による特別授業を16回実施した。	A
	日本大学への進学者数増加に向けた取組	生物資源科学部の教員、校友による特別授業を実施することにより帰属意識を高めた。	A
保健衛生	健康な生活	健康診断4月、眼科検診5月、内科検診6月、マラソン検診1月を実施した。	A

	安全の確保	教職員AED講習を7月に実施した。	A
図書	読書量の増加	全学年、国語の授業を週1時間、図書館で読書の時間として実施した。	A
広報	第1志望入学者の増加	受験者数147名、入学者72名で定員を確保できた。	B
管理運営	定期的な会議の実施	教務部会、生活指導部会、教職員会議を定期的実施した。	B

【A達成できた、B大体達成できた、Cあまり達成できなかった、D達成できなかった】

平成29年度の取組目標及び方策

評価項目	具体的取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
教育活動	基礎学力の育成	行事を土曜日に配置し、月～金の授業時間を確保する。 外部実力テスト、算数検定、漢字検定を実施する。 学習が遅れ気味の児童への個別指導や新3年生についても、週一時間程度は学力別指導を実施する。 新3年生定期考査実施（年5回）	実力テスト9月と3月 算数検定・漢字検定10月
	気力・体力の育成	宿泊行事：防災訓練（学校1泊）、山登り（志賀高原3泊4日）、スキー教室2回（志賀高原3泊4日）を実施し、集団生活における協調性の育成や体力増進を図る。	
	授業の改善に向けた取組	授業公開週間を各学期に1週間設定し、教員が相互に授業を見る。 適時、校長による授業観察を実施し、教員と授業について意見交換を行う。	7月、12月、3月
学校生活への配慮	良い人間関係の確立	個々の児童が活躍できる場面を作ることを心がける。	
	清潔な環境の整備	校舎内外の清掃を児童と教職員がともに行う。	
	いじめ防止のための取組	いじめ防止の教員研修を実施	6月、11月
課外活動	異なる学年間の交流	放課後、教員と児童が共に学習や運動行う時間として「遊学タイム」を実施することを継続していく。 クラブ活動への移行を検討する。	
	学習をサポート	放課後、図書館ラウンジ前に、学習に関することは何でも相談できるコーナー「寺子屋」を継続し、児童にとって親しみやすい環境を整備していく。	
進路指導	将来の夢の形成	土曜日に特別授業を各学年で5回実施する。新3年生は理科で特別授業を実施する。	

	日本大学への進学者数増加に向けた取組	生物資源科学部の教員，校友による特別授業を実施し，帰属意識を高める。	
保健衛生	健康な生活を促す	健康診断，眼科検診，内科検診，持久走検診の実施	4月，5月，6月
図書	読書量を増やす。	全学年国語の授業を週1時間，図書館で実施	
広報	第1志望入学者増加	学校説明会，授業見学会，教育懇談会，個別相談会を実施する。	5月，6月，7月，8月
管理運営	定期的な会議実施	教務部会，生活指導部会，教職員会議を定期的に実施する。	月1回
	3階教室の設備を整備していく	マルチメディアシステムの設置や，机・いす等学習環境の整備を行う。	8月

中長期的目標及び方策

評価項目	具体的取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
教育活動	基礎学力の育成	外部実力テストの実施 算数検定・漢字検定 ICT（情報通信技術）を活用した授業の実施	
	英語力の向上	オールイングリッシュ授業の実施	4月～全学年週5日
管理運営	施設設備の整備	各階教室マルチメディアシステムの設置完成年度に向けての教室机・いすの整備家庭科教室の整備（平成30年度）	8月